

ポスト 2020 水田の生物多様性向上のための学習会

「気候変動と水田」

生物多様性条約のポスト 2020 枠組みや生物多様性国家戦略などが検討されており、農水省の「みどりの食料システム戦略」も策定されたばかりです。ラムサール・ネットワーク日本でも、これまでの田んぼ 10 年プロジェクトの成果と課題を踏まえ、2021 年以降の活動計画を準備中です。この学習会では、道家哲平さん（国際自然保護連合（IUCN）日本委員会事務局長）と、谷津田の再生などに取り組む西廣淳さん（国立環境研究所）を講師にお招きし、「地球温暖化に歯止めがかからず、第6の大量絶滅期といわれるこの時代に欠かせない役割が水田にある」という西廣さんのお話を伺い、これからの田んぼの活動について意見交換します。

【プログラム】

講演：「国際的な枠組みと農業への期待」

道家哲平さん（国際自然保護連合（IUCN）日本委員会）

講演：「気候変動適応策における水田や耕作放棄水田の役割」

西廣 淳さん（国立環境研究所気候変動適応センター）

意見交換：

ポスト 2020 枠組み：水田の生物多様性向上ここがポイント

【日程】

2021 年 8 月 30 日（月）17：30～19：00

オンライン（Zoom）参加のみ

【申し込み】

参加はオンライン（Zoom）のみとなります。

下記の URL からお申し込みください。

<https://forms.gle/yf6osonRMdAU5Pa47>

申し込み〆切り：2021 年 8 月 27 日 24 時

※申し込みをいただいた方には、8 月 30 日正午ごろに Zoom の URL/ID などをメールにてお知らせします。

西廣 淳（にしひろ じゅん）



国立環境研究所気候変動適応センター気候変動影響観測研究室室長
研究課題：生態系を考慮した気候変動適応／湿地の生物多様性保全・生態系修復

略歴

2007 年 東京大学大学院農学生命科学研究科 助教

2013 年 東邦大学理学部生命圏環境科学科 准教授

2019 年 国立環境研究所気候変動適応センター主任研究員

2020 年 国立環境研究所気候変動適応センター室長

道家哲平（どうけてつぺい）



国際自然保護連合（IUCN）日本委員会 事務局長兼副会長
生物多様性条約の NGO における第一人者。国際的な情報収集・分析を行い、日本の生物多様性保全の底上げに取り組んでいる。2020 年までに日本からの愛知ターゲットの達成を目指し、企業や団体、自治体など多分野のセクターのネットワーク化を行いながら、地域や企業の生物多様性戦略、「にじゅうまるプロジェクト」、UNDB-J などの生物多様性保全事業を推進している。



【問い合わせ】ラムサール・ネットワーク日本 TEL & FAX 03-3834-6566 Eメール info☆ramnet=j.org（☆印は@に置換）

主催：ラムサール・ネットワーク日本 共催：国際自然保護連合（IUCN）日本委員会



※このイベントは 2021 年度独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。